

第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

取り組みの柱 1 食をとおした健康づくり

- 1-1 望ましい生活リズムの推進
- 基本施策 1-2 食と心身の健康づくりの推進
- 1-3 日本型食生活の推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 朝食を毎日摂取するようにしましょう	幼稚園・保育園：99.2% 20～30歳代：75.0% 中学2年生 ：91.2% 40～60歳代：82.6% 中学3年生 ：94.0% 70歳以上 ：93.7%	中学生以下：100%に近づける 20・30歳代：90%に近づける 40歳以上：100%に近づける
(2) 栄養バランス等に配慮した食生活を送りましょう	青年期 ：65.0% 壮年期 ：64.3%	80%以上に近づける
(3) 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に気をつけて生活しましょう	新規	50%以上
(4) よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心をもちましょう	新規	80%以上

実施事業	実施主体（担当課）	平成26年度実績（4月～3月分）	備考
生活リズムの確立 園での生活の中で、日々の生活リズム（遊びなどの運動・食事・睡眠）をつくり、朝ごはんの大切さを学ぶ場をつくりまします	保育課	公立保育園では、食事と昼寝の時間を決め、自然に生活リズムを意識した行動が出来るようにした。また、食事や健康の大切さを理解するための活動を、保育の一環として、栄養士、保健師と連携で実施した。	
生活リズム確立の推進 年齢ごとの食事や睡眠時間について改めて知らせ、再考する機会を作ります	岩瀬保育園	年齢に合わせた食事のとり方や睡眠時間について知らせることで、生活リズムを見直すきっかけを作った。	
給食だよりの発行 保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、保育園の献立の作り方を紹介しています	保育課	公立保育園では、給食だよりを発行した。（月1回発行）	
「バランスのとれた食事」の啓発と実践 年間調理保育計画において「バランスのとれた食事」など、食事の大切さを学ぶ機会をつくり、実践します	保育課	公立保育園では、「バランスのとれた食事」を体感できるように、日々の給食でバランスに配慮した食事を提供した。また、食事の準備や調理に関わる機会を持たせ、食の大切さを指導した。	
	発達支援室	児童発達支援センターあおぞら園では、食に対するこだわり、偏りのある児童に、調理の過程を見る、調理に一部参加することなどを通じて「食事は、楽しく、面白い」という体験を積み重ね、今まで口になかった食材も食べてみようとする環境作りを実践した。	
	鎌倉いずみ幼稚園	鎌倉いずみ幼稚園では、「栄養三原色」や「食べ物を大切にしよう！」などをテーマに、食の大切さ、バランスの良い食事をする大切さを指導した。	
給食だよりの発行 給食だよりをとおして、朝食の大切さ、望ましい生活リズムについて家庭へ伝えます	発達支援室	児童発達支援センターあおぞら園では、給食だよりの内容を含めた「献立表」を毎月発行した。	
	公立小学校	給食だよりの発行を実施した。（概ね月1回発行）	

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
給食をとおしてバランスのとれた食を学ぶ バランスのよい日本型食生活を取り入れた献立の給食を提供することで、食べる体験からバランスのよい食事の大切さを学びます	公立小学校	給食を教材として食事のバランスについて学ぶことを実践した。	
保健だより、健康だより等の発行 これらをとおして、望ましい生活リズム等を児童・生徒や家庭へ伝えます	公立 小・中学校	実施（概ね月1回発行） 中学生向け「食育だより」（年3回発行予定）を発行した。	
朝会、学級指導、道徳の時間を 利用した指導		年間指導計画に基づき、また指導の必要な場面に応じて実施した。	
生活リズム強調期間の設定		長期休業中の生活指導等、年間指導計画に基づき実施した。	
家庭科等の教科における食育 栄養バランスを考えた献立を整え、基礎的な調理をします。		実施 （年間指導計画に基づき、小学校では、米飯とみそ汁を中心とした1食分の調理実習などを実施した。中学校では、栄養を考えた食事の献立を考え、基礎的な日常食の調理を実施した。）	
食に関する年間指導計画を策定		全校策定	
家庭科、特活等における学習 食と安全、食品の選び方・買い方、バランスのよい食事、健康と食べものなどについて学びます		年間指導計画に基づき家庭科、特活等における食に関する学習を実施した。	
食育年間計画の策定	鎌倉いずみ幼稚園	鎌倉いずみ幼稚園では、年少・年中・年長別に食育年間計画を策定した。	
給食便りの発行		保護者に対し、毎月1回給食便りを発行した。	
小学生からの消費者教室 おやつなど、子どもにとって身近な食品について、成分や安全性などを学ぶ講座を開催します	市民相談課	小学3～6年生とその保護者を対象に、お菓子の色、飲料の甘さ、排水への影響について実験をとおり考える教室を開催した。（4回、延べ76人）	
乳幼児健診・乳幼児健康相談等における啓発 乳幼児健診等で、保護者との個別相談の時間を設け、生活リズムの確認や食事の大切さを伝えます	市民健康課	6か月児育児教室、1歳児歯科育児教室、1歳6か月児健康診査、乳幼児健康相談において食事に関するアドバイスを実施した。また、1歳6か月児健康診査では一口つなぎ食に関するレシピ配布を行った。（156回、延べ1,872人）	
地域食育事業・健康づくり事業の実施 地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、食と健康づくりの関係について講話等をおし伝えます		骨密度や体組成測定等とあわせて食と健康づくりについて啓発した。今年度はカルシウム摂取量の増加に重点をおき実施した。 また、地域の活動グループの中で、思春期における食生活・熱中症予防の食事・高齢者の低栄養予防の食事等についての講話を行った。 （20カ所、延べ716人）	
母子食育事業の実施 お子さんや保護者が、はじめて接する「食」体験の大切さ・幼児期に適したおやつを共食する楽しさを伝えます （こんにちはあかちゃん教室、おんぶで離乳食教室、バニラビーンズ等）		初めてあかちゃんをむかえる、お母さん・お父さんのための講座として「こんにちはあかちゃん教室」、離乳食の形態とあかちゃんの口の動きを学ぶ講座として「おんぶで離乳食教室」、双子・三つ子の親子の情報共有や共食を楽しむ講座として「バニラビーンズ」を実施した。（27回、延べ564人参加）	
成人保健事業における栄養相談の実施 個別栄養相談「食事カルテ」を実施し、食生活から生活習慣病予防を考えます		食事に関する個別相談を行い、望ましい食事にするための情報提供や個々に応じた食生活の提案を行った。（28回、29人）	

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
高齢者保健事業における食育事業の実施 個別栄養相談やランチセミナーを通して、望ましい食事とウエイトコントロールについて考えます	市民健康課	膝関節・股関節疾患の方を対象にした講座において、食事に関する個別相談や市内就労継続支援事業所等で作られたお弁当を用いたランチセミナーを行った。(11回、74人)	
地域支援事業における食育講座の実施 「地域サポーター養成講座」の中で栄養・食事に関する講義を行い、今後の地域活動に活かします		望ましい食事のあり方や、今後地域サポーターになった際に活用できる地域でできること等の情報提供を行った。(述べ22人参加)	



【高齢者保健事業における食育事業(市民健康課)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
かまくら食育カレッジの開催 世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します	教育総務課 (生涯学習センター)	手作りのよさと、楽しさを知り、安全な食について考える講座を実施した。(3講座 延べ98名参加)	
	青少年課	幼児、小・中学生とその保護者、青年に対し、「食」に関心を持つことを重点においた講座を実施した。 (4月～9月：49回延べ733人参加、10月～3月：53回延べ795人参加、計102回延べ1,528人参加)	
	市民健康課	「健康づくり」「鎌倉の食」「食と環境」の視点で食育カレッジを実施した。 (「簡単！おいしい！子どもに作ってあげたいおだし料理」7人参加) (「食育ってなあに～食卓から食育を考えてみましょう～」14人参加) (「鎌倉でとれる魚とおろし方講座～地魚を使って干物にしてみましょう～」14人参加) (「食品衛生のキホンと衛生的なお弁当作りのコツ」延べ32人参加) (「高齢期に向けた口腔ケア～いつまでも自分の歯で美味しく食べるために～」9人参加) (「自分を知って食材を選ぶ、からだ元気料理～食育からみる菜膳～」11人参加)	
親子ふれあいセミナー「親子で作るおいしいランチ」の実施	市民健康課	3歳以上の未就学児と保護者を対象に、親子での食事作りと試食を行い、親子でのふれあいを促すと共に、共食の良さを味わった。(献立:ごはんピザ、生春巻きサラダ、コーンスープ、デザート)	委託先: NPO法人輝き・遊っ子楽っ子 協力: 鎌倉市食生活改善推進団体若宮会



(子どもに作ってあげたいおだし料理)



(「鎌倉の漁師さんに聞いてみよう！鎌倉でとれる魚とおろしかた講座
～地魚を使って干物を作ってみましょう～」)



(「食品衛生のキホンと衛生的なお弁当作りのコツ」)

【かまくら食育カレッジ(市民健康課)】



【親子ふれあいセミナー「親子で作るおいしいランチ」
(NPO法人輝き・遊っ子楽っ子)(鎌倉市食生活改善推進団体若宮会)】

第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

取り組みの柱 2 食をととした人づくり

- | | |
|------|--------------------------------------------------------------------|
| 基本施策 | 2-1 食に関する体験の推進
2-2 鎌倉の食、日本の食の伝統や文化の推進
2-3 家庭、地域、学校等における共食の推進 |
|------|--------------------------------------------------------------------|

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」を楽しみましょう	平成25年度から指標変更	週平均10回以上
(2) 農水産業など食に関した体験をしましょう	平成25年度から指標変更	30%以上

実施事業	実施主体（担当課）	平成26年度実績（4月～3月分）	備考
給食をととし、伝統的な食に親しむ 和食の献立を多く取り入れた給食を実施します	保育課	公立保育園では、日々の献立に、和食を意識的に多く取り入れている。野菜や果物など、旬を意識して提供した。また、こどもの日、七夕、十五夜、ひな祭りなど、伝統的な和の行事食を実施した。	
	発達支援室	児童発達支援センターあおぞら園では、5月のこどもの日、7月の七夕等の季節や年中行事を意識した献立に基づく給食の提供を実施した。	
スプーンや箸などの食具の上手な 使いかたを身につける	保育課	公立保育園では、日々の給食の中で、月齢、年齢に応じた食具の使い方（スプーンの持ち方や箸の使い方）の指導を実施した。	
食に関するマナーを知る 集団生活の中で、年齢に応じた会食のマナーを身につけることを支援します	保育課	公立保育園では、日々の給食時間にクラス内での他者との関わり方や食事マナーを指導した。また、行事の時には異年齢児とグループになり、大人数での会食マナーを身につける指導を実施した。	
	公立小・中学校	昼食の準備、後片付け、当番活動を通じて、マナーの他、協力、話題づくりなど人間関係を作り、社会性を身につけるための指導を実施した。	
	鎌倉いずみ幼稚園	鎌倉いずみ幼稚園では、食事マナーを身につけるため、あいさつ、正しい姿勢、お箸の持ち方などを指導した。	
	材木座幼稚園	入園後、新入園の年少児に年長児が「お世話係」となり、園生活全般のお手伝いをしたり、一緒に遊んだりした。	
「食」に関する感謝の心をはぐくむ 給食、家庭科、技術・家庭科等とおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てます 食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てます	保育課	公立保育園では、野菜の栽培や調理保育を通し、食に関わることにより、感謝の心を育てる指導を実施した。	
	公立小・中学校	実施	
	聖ミカエル学院幼稚園	聖ミカエル学院幼稚園では、野菜の栽培を通して、食べ物への感謝の気持ちを育んだ。	

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食 日々の給食やランチルーム会食会、地域の方との会食会等とおし、一緒に食べる楽しさを体験します	保育課	公立保育園では、日々の給食時にはクラス内、行事の時には異年齢児とグループになり会食することにより、一緒に食べる楽しさを体験させた。	
	公立小学校	ランチルームでの会食や学年間の交流給食、地域の方などとの会食を実施した。	
	材木座幼稚園	5月中に1度会食をし、お弁当の支度を教えたり、手伝ったり、食事を楽しみながら行った。	
鎌倉伝統の食による献立の作成 鎌倉の伝統の食であるけんちん汁の献立を作成し、次世代に伝えます	公立小学校	鎌倉の伝統の食を取り入れた献立として、各学校でけんちん汁を実施した。	
一人暮らし高齢者の会食会等の支援 地区社協を中心とした、一人暮らし高齢者の会食会等の開催の支援と会食会等での食に関する健康教育	高齢者いきいき課 市民健康課	地区社会福祉協議会で、高齢者の会食会を中心に活動した。	



【一人暮らしの高齢者の会食会等の支援
(高齢者いきいき課、市民健康課)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
<p>かまくら食育カレッジの開催 世代をとおり、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施します 特に調理等の体験と会食を含めた講座で推進します</p>	青少年課	<p>【再掲】 幼児、小・中学生とその保護者、青年に対し、「食」に関心を持つことを重点においた講座を実施した。 (4月～9月：49回延べ733人参加、10月～3月：53回延べ795人参加、計102回延べ1,528人参加)</p>	
	教育総務課 (生涯学習センター)	<p>手作りのよさと、楽しさを知り、安全な食について考える講座を実施した。(3講座 延べ98名参加)</p>	
	市民健康課	<p>【再掲】 健康づくり・鎌倉の食・食と環境の視点で食育カレッジを実施した。 (「簡単！おいしい！子どもに作ってあげたいおだし料理」7人参加) (「食育ってなあに～食卓から食育を考えてみましょう～」14人参加) (「鎌倉でとれる魚とおろし方講座～地魚を使って干物にしてみましょう～」14人参加) (「食品衛生のキホンと衛生的なお弁当作りのコツ」延べ32人参加) (「高齢期に向けた口腔ケア～いつまでも自分の歯で美味しく食べるために～」9人参加) (「自分を知って食材を選ぶ、からだ元気料理～食育からみる菜膳～」11人参加)</p>	
	市民相談課	<p>小学3～6年生とその保護者を対象に実験や体験をとおり啓発した。 お菓子の色、飲料の甘さ、排水への影響について実験を通し考える教室を開催した。(4回、延べ76人) 鎌倉の野菜について学び、多種の作物を栽培する七色畑での状況を体験する教室を開催した。(1回、18人)</p>	



【実験してみよう！台所排水の環境への影響
 飲み物の甘さ(市民相談課)】



【鎌倉の七色畑を見にいこう！
 (市民相談課)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
幼児食育事業「やってみよう！わくわくクッキング」の実施	市民健康課	「自分でやってみよう」という気持ちが芽生える時期の幼児を対象に調理を行い、一緒に食べることで「共食」の良さを味わった。 図書館職員及びボランティアスタッフによるおにぎり等の絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びも合わせて実施し、調理への導入を行った。 調理は日本の食文化に触れるきっかけになるよう「おにぎり作り」「かつおぶし削り」等の体験、家庭で簡単に手作りできるおやつとして「豆腐白玉団子作り」「さつまいもヨーグルトパフェ作り」の体験を行った。(4回、69人参加)	
親子ふれあいセミナー「親子で作るおいしいランチ」の実施	市民健康課	【再掲】 3歳以上の未就学児と保護者を対象に、親子での食事作りと試食を行い、親子でのふれあいを促すと共に、共食の良さを味わった。(献立:ごはんピザ、生春巻きサラダ、コーンスープ、デザート)	委託先: NPO法人輝き・遊つ子楽つ子 協力: 鎌倉市食生活改善推進団体若宮会



(かつお節削り体験)



(一口おにぎり作りと試食)



(図書館職員とボランティアによる読み聞かせ)



(豆腐白玉団子)



【やってみよう！わくわくクッキング(市民健康課)】



(さつまいもヨーグルトパフェ)

【やってみよう！わくわくクッキング(市民健康課)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
給食試食会の開催 子どもたちと同じものを食べて「おいしい」を共有します。	岩瀬保育園	給食試食会を開催、保護者にも普段の給食を味わいながら食についてより関心を持ってもらった。	
食育フェスタで食体験 家庭でも簡単にできることを実際に体験してもらいます。		今回はバター作りを行い、保護者や近隣住民に食体験をしてもらった。	



(給食試食会)



(バイキング給食)



(食育フェスタ[バター作り])

【給食試食会・食育フェスタ(岩瀬保育園)】

第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

取り組みの柱 3 食でつなぐ地域づくり

- 基本施策
- 3-1 生産から体の中まで、食の過程を知る体験の推進
 - 3-2 地場産物の使用の推進
 - 3-3 食をとおした地域づくりの推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 地元産（県内産を含む）食材を使いましょう	25.8% *地元産の（県内産を含む）食材をよく購入している人の割合	30%以上
(2) 食育の推進に関わるボランティア活動をしてみましょう	9団体（612人）	700人以上

実施事業	実施主体（担当課）	平成26年度実績（4月～3月分）	備考
栽培をとおして食べる意欲を育てる 種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、 栽培の苦勞と収穫の喜びを体験します	保育課	公立保育園では、野菜や芋の苗付けや収穫を実施した。園児の成長状況に応じ指導した。	
	発達支援室	児童発達支援センターあおぞら園では、いちご、トマト、シシトウ、なす、さつま芋などの苗を植え、収穫する喜びを体験した。	
	片岡幼稚園	片岡幼稚園では、年長・年中児が夏野菜（ナス、キュウリ）を自分たちで栽培した。	
	鎌倉みどりこども園	鎌倉みどりこども園では、ピーマン、きゅうり、トマト、ナスを栽培し、実った喜びを体験した。	
	鎌倉幼稚舎幼稚園	鎌倉幼稚舎幼稚園では、玉ねぎ、さつまいもの定植から収穫までを体験した。	
	北鎌倉学園 あおぞら幼稚園	あおぞら幼稚園では、米を苗から栽培し、当たり前前に食べているお米ができるまでの大変さを体験した。	
	七里が浜楓幼稚園	七里が浜幼稚園では、年長でナス、ミニトマト、枝豆、きゅうりなどの夏野菜の栽培をした。	
	聖ミカエル学院幼稚園	聖ミカエル学院幼稚園では、子どもたちと育てる野菜を相談して決め、花壇やプランターを利用して、苗から栽培を行った。	
玉縄幼稚園	玉縄幼稚園では、夏野菜、じゃがいも、さつまいもを栽培し、収穫を体験した。		



(かぼちゃ)



(きゅうり)

【野菜栽培（聖ミカエル学院幼稚園）】



(お米の栽培)



(牛乳パックを使って苗からお米をとります)



(苗からお米をとったところ)



(精米中)

【野菜栽培(北鎌倉学園おおぞら幼稚園)】



(トマト)



(ピーマン[手前]、トウモロコシ[奥])



(枝豆)



(トウモロコシ)



(枝豆)

【野菜栽培(保育課)】



(きゅうり)



【野菜栽培と収穫(玉縄幼稚園)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
味覚体験 自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験します	保育課	公立保育園では、栽培から収穫までを体験し、採れた野菜を調理保育や給食の材料として使用するなど、一連の流れで経験できた。園児の成長状況に応じ指導した。	
	発達支援室	児童発達支援センターあおぞら園では、収穫した野菜をそのまま給食場で食べてみる体験とともに、収穫して目の前で調理する場面を見ることなども体験した。旬の果物などを子供の前で皮をむいたりして、香りや味の体験をした。	
	片岡幼稚園	片岡幼稚園では、付近の畑で栽培した野菜、果物を収穫し試食した。じゃが芋、さつま芋はふかし、園内でお芋パーティーを実施した。	
	鎌倉いずみ幼稚園	鎌倉いずみ幼稚園では、じゃが芋、お米、さつま芋の収穫体験を行った。収穫したじゃが芋でカレーパーティー、焼き芋やご飯を試食した。	
	鎌倉みどりこども園	鎌倉みどりこども園では、収穫した野菜を生食または簡単な味付けをし、試食した。	
	鎌倉幼稚舎幼稚園	鎌倉幼稚舎幼稚園では、収穫した野菜と手作り味噌では味噌汁を作り、収穫した梅の実では梅干しやジャムを作り、試食をした。	
	北鎌倉学園 おおぞら幼稚園	おおぞら幼稚園では、収穫した米を脱穀し精米機にかけて白米にし、おにぎりにして試食した。	
	七里が浜楓幼稚園	七里が浜幼稚園では、採れたての野菜の味を体験することや、お泊まり保育で作るカレーの具にして試食した。	
	聖ミカエル学院幼稚園	聖ミカエル学院幼稚園では、収穫できた野菜をクラスで食べたり、他の学年にあげたりした。	
玉縄幼稚園	玉縄幼稚園では、収穫した夏野菜は各自家に持ち帰り試食した。じゃがいもはお泊り保育でカレー作り、さつまいもは焼き芋にして試食した。		



(カレーパーティー)

(さつまいも堀り)

(さんまパーティー)

【カレーパーティーとさつまいも堀りとさんまパーティー(鎌倉いずみ幼稚園)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
調理体験 自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った、調理を体験します	保育課	公立保育園では、5歳児に調理保育を実施した。 (味噌汁、カレー、月見団子等)	
	鎌倉幼稚舎幼稚園	鎌倉幼稚舎幼稚園では、3～5歳児では週に1回、自分たちでおにぎりを作って食べる、おにぎり給食を実施した。	



(玉ねぎ皮むき)



(胡麻和え)



(月見団子)



【調理体験(保育課)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
地場食材を活用した給食の実施 鎌倉産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝えます	保育課	公立保育園では、市内・県産の青菜、玉ねぎ、キャベツ等を使用。野菜類については学校に準じた納品を納入業者の協力で実施した。	
	公立小学校	市内産のほうれん草やこまつな等、県産の牛乳、たまねぎ、キャベツ、米等を使用した給食を実施した。	
	発達支援室	児童発達支援センターあおぞら園では、納入業者の協力のもと、地産地消を意識した食材の納入を実施した。 (市内産のきゅうり、県産の小松菜、トマト、かぶ、玉ねぎ、かぼちゃ、とうもろこし等)	

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
学校給食展の開催 地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深めてもらいます	公立小学校	鎌倉駅地下道ギャラリーに学校給食についてのパネル展示を10月に実施した。	
季節の食材の紹介 給食室や栄養士から、季節の食材情報を発信します		旬の野菜等を取り入れた給食の提供や、給食だより等で実施した。	
生産体験学習 栽培活動をとおして、食生活が多くの人に支えられていることを学びます	公立 小・中学校	米・野菜の栽培等、各校の年間指導計画に基づき実施した。	
食料生産に関する学習 社会科等の教科の中で、食料生産を支える人々について学びます		食料生産に従事している人々の工夫や努力、地域の環境条件を生かした食料生産等を各校における年間指導計画に基づき実施した。	
職場体験（キャリア教育） 総合的な学習の時間をとおした、職場体験を実施します	公立中学校	近隣の青果店等での職場体験を各校の年間指導計画に基づき実施した。	
親子農業体験の開催 JAさがみ鎌倉市青壮年部が、種まきから収穫まで、一連の農作業体験の場を提供します	J Aさがみ 鎌倉市青壮 年部	第1回種まき（9/6実施）33組参加 第2回間引き（9/20実施）35組参加 第3回収穫（11/15実施）29組参加	
秋の収穫まつりの実施 鎌倉で収穫された農産物・海産物の紹介と販売をとおし、鎌倉の食と一緒に守り育てる心をはぐくみます また鎌倉の産業の活性化をはかります	秋の収穫まつり 実行委員会	秋の収穫まつり 魚まつり（鎌倉漁協・10/5実施予定 →台風の影響により中止） 農産物品評会・秋の収穫まつり （11/22・11/23実施）	
食育・農業体験研修会の実施 児童・生徒へ「食育」を伝えるため、まず、教育に携わる教職員の研修会を開催し、一人ひとりが「食とは何か」を考えます	教育センター	第1回「鎌倉の漁業体験研修会」(31名参加)を実施した。 第2回「食育研修会」(17名参加)を実施した。	
食育事業（調理実習等）における地場食材の使用 調理実習等をとおし、地元産（県内産を含む）の食材を味わってもらうことで、地元の食を知り、大切にすることを学びます	市民健康課	食育カレッジ、こんにちはあかちゃん教室、おんぶで離乳食教室、パニラビーンズ（双子・三つ子の親子講座）等の調理実習や講座で地場食材を使用し、旬の食材の良さ等を伝達した。（計26回使用）	
地域支援事業における食育講座の実施 「地域サポーター養成講座」の中で栄養・食事に関する講義を行い、今後の地域活動に活かします		【再掲】 望ましい食事のあり方や、今後地域サポーターになった際に活用できる地域でできること等の情報提供を行った。（22人参加）	
かまくら食育カレッジの開催 鎌倉の漁業紹介と調理体験の実施		鎌倉漁業協同組合の協力により、鎌倉の漁業紹介と魚のおろし方、干物にする方法について学ぶ講座を実施した。 （鎌倉学科「鎌倉の漁師さんに聞いてみよう！鎌倉でとれる魚とおろし方講座～地魚を使って干物にしてみよう～」（12/7実施））	
地域食育活動団体加入者増加のための協力		食育に関する事業で鎌倉市食育活動団体として登録されている12団体を紹介するチラシを配布した。また、ホームページや衛生時報での周知を行った。	

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
大船軒とのコラボ弁当の開発	鎌倉女子大学家政学部家政保健学科調理と食文化ゼミナル	6月には、食べて満足感のある女性向け折り詰め弁当をコンセプトに「豆をまめに使いました。弁当」を開発した。11月には、「カルシウムに注目しました。弁当」の開発した。鎌倉・神奈川産の食材を使用し、多くの人に知ってもらい、購入してもらった。	
福祉まつりで「鎌倉焼売」を調理、販売	鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科	9月に鎌倉市福祉センターにて行われた福祉まつりにおいて、60代からの男の料理教室参加者と共に「鎌倉焼売」の調理・販売を行った。	
「鎌倉産アカモク」を使用した商品の開発	鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科食品学ゼミナル	鎌倉で採れる海藻のアカモクを使用した「アカモクさつま揚げ」の商品開発をし、販売を行った。カルシウム・鉄・マグネシウムなどのミネラルが豊富で、食物繊維が多く、歯切れのよい食感が特徴で、多くの方から高い評価を得られた。	



【大船軒とのコラボ弁当(鎌倉女子大学)】



【鎌倉産アカモクを使用した商品の開発(鎌倉女子大学)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
畑の活動を楽しみながら、命をいただく実感を持つ。 自分たちで育てることで素材を大切に する心を育みます。	岩瀬保育園	季節ごとの野菜の栽培と収穫を楽し む中で、命をいただく実感を持ち、 食材を大切にしていける気持ちを育ん だ。	
食育フェスタの開催 保護者や近隣住民を巻き込んで食につ いて見直し、考える機会にします。	岩瀬保育園	近隣住民と一緒に、食について楽し く考える機会になっている食育フェ スタを開催した。	



【玉ねぎの収穫(岩瀬保育園)】

第2期鎌倉食育推進計画 行動計画

取り組みの柱 4 食からはじめる環境づくり

- 基本施策
- 4-1 食に関する場づくりの推進
 - 4-2 食育情報の発信体制の充実
 - 4-3 食の3Rの推進

行動計画（指標）	現状値（平成25年3月末第2期計画策定時）	目標値
(1) 食品表示や、食中毒の予防などの食品の安全性について関心をもちましょう	65.80%	90%以上
(2) 食物などから出るごみの発生抑制に取り組みましょう	82.60%	85%以上

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
給食だよりの発行 給食だよりをとおして、食のマナー・日本の食文化について家庭へ発信します	公立小学校	【再掲】 給食だよりの発行を実施した。 (概ね月1回発行)	
学校給食展の開催 地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深めてもらいます		【再掲】 鎌倉駅地下道ギャラリーに学校給食についてのパネル展示を10月に実施した。	
社会科等の教科における学習 市教委作成副読本「かまくら」「わたしたちの鎌倉」を用いて、「食」ともつながる身の回りの環境を学習し、環境保全の意識をはぐくみます	公立 小・中学校	各校の年間指導計画に基づき実施した。	
環境教育の実施 教科、総合的な学習の時間等をおし、身近な環境からグローバルな環境まで考える力をはぐくみます		各校の年間指導計画に基づき実施した。	
鎌倉の地域に関する学習 社会科、総合的な学習の時間等の時間をおし、鎌倉の地に興味を持つことで地域づくりへの意識をはぐくみます		地域学習の中で、鎌倉の農業や生産物等についての学習を実施した。	
開かれた学校づくり 学校行事等の開放により、地域との連携を推進します		10月に「学校へ行こう週間」を全校で実施した。	
牛乳パックのリサイクル 給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくみます	公立 小・中学校 環境政策課	公立小・中学校全校で実施した。 (牛乳アレルギーの児童に配慮して実施した。) 年間リサイクル量：約12,470kg	
「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画改訂版」及び「鎌倉市環境教育推進計画」の施策の推進 温室効果ガス削減や環境保全行動の推進について、具体的な取り組み（地産地消 など）の普及啓発を図ります	環境政策課	・6月の環境月間において、農産物の地産地消についてのパネル展示を実施した。 ・環境出前講座（7月/計3回）、夏休み子ども観察会（8月/1回）、環境教育アドバイザーの派遣（42回/2,277名）を実施した。	

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
食に係る放射性物質濃度測定の実施 市立・私立保育園、あおぞら園、幼稚園及び小学校給食食材等並びに農産物の放射性物質濃度測定を実施します	保育園 こども みらい課 発達支援室	市立保育園、あおぞら園の給食食材について、1日1検体もしくは2検体を抽出し、給食に使用する前日に測定して安全を確認した。 また、私立保育園及び幼稚園は施設からの申出により、園庭等で収穫した食材も含め測定を実施した。	<担当課> 保育園：保育課 幼稚園：こどもみらい課 あおぞら園：発達支援室
	公立小学校	市立小学校の給食に使用する東日本産の食材について、1日2検体を抽出し、給食に使用する前日に測定した。さらに、事前に測定可能な食材については、月10検体程度を測定し、安全な食材の提供に努めた。	<担当課> 学務課
	産業振興課	市内で生産された農産物について、毎月1回放射性物質測定を行い、安全を確認した。	
環境教育 保育園・幼稚園・小学生の児童を対象とした、循環型社会の形成に向けた、「食」をとoshたごみ発生抑制・減量化及び資源化を推進します	資源循環課	出前講座や貸出しによるイベント型等で実施した。 ・保育園・幼稚園(紙芝居等貸出しによるイベント型) 6回(貸出しのため人数未回答) ・小学校 9回(延べ664人参加) ・中学校 4回(うち、2回は文化祭出展 延べ913人参加)(出前講座は延べ153人参加)	
秋の収穫まつりの実施 鎌倉で収穫された農産物・海産物の紹介と販売をとosh、鎌倉の食を一緒に守り育てる心をはぐくみます また鎌倉の産業の活性化をはかります	秋の収穫まつり実行委員会	【再掲】 秋の収穫まつり 魚まつり(鎌倉漁協・10/5実施予定→台風の影響により中止) 農産物品評会・秋の収穫まつり(11/22・11/23実施)	
食育交流会の実施 生産者等「食」に携わる人・団体やかまから食育クラブの交流をはかり、一緒に「鎌倉の食育」を推進する体制づくりをめざします	市民健康課	市内スーパー店にて「よくかみ、おいしく食べて健康に！」をテーマに食育交流会を実施した。(2/21) よくかんで食べる汁物として「根菜汁」の試食配布、鎌倉やさいの販売、食育紙人形劇、ロツテガムによるかみかみチェック、野菜の絵の展示、骨密度測定、体組成測定、乳がんしこり体験を無料で行った。 (協力：イトーヨーカドー大船店、鎌倉女子大学、ロツテ商事(株)、岩瀬保育園、JAさがみ)	
食育情報の発信 食(育)に関する正しい情報発信の充実をめざします	市民健康課	鎌倉衛生時報やホームページに食育に関する記事を掲載し、情報発信を行った。 ・衛生時報6月号：食育月間について及び食中毒予防について ・衛生時報11月号：わくわくクッキングの紹介 ・衛生時報3月号：市民健康課で実施している食育事業(食育交流会・食育カレッジ・食育ボランティア・健康づくり応援団・食事カルテ等)の紹介 ・ホームページでの食育講座開催の様子の掲載及びレシピ掲載	



(食育紙芝居「よく噛んでいいこといっぱい、元気いっぱい」)(協力:鎌倉女子大学)



(根菜汁の提供)(協力:株式会社イトーヨーカ堂・鎌倉女子大学)



(かみかみチェック)
(協力:ロッセ商事株式会社)



野菜の絵
(協力:岩瀬保育園)



かまくら野菜の販売
(協力:JAさがみ)

【食育交流会(市民健康課)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
ごみ処理機の利用と残食なし 子どもたちの喫食状況に合わせた盛り付け をすることで残食がないようにします。	岩瀬保育園	残食をしないように日頃から指導 し、喫食状況に合わせて個々に合わ せた量の加減をした。	
食体験と食育だよりの発行 さまざまな食体験を通して子どもたちの感 性を引き出します。		ソラマメの皮むきや梅ジュースを作 るなど食に関する体験をし、その日 のうちに写真を掲載した「食育だよ り」を発行した。	



(ソラマメの皮むき)



(梅ジュースづくり)

【食体験(岩瀬保育園)】

実施事業	実施主体 (担当課)	平成26年度実績 (4月～3月分)	備考
収穫まつりでの食育紙人形劇の上演	鎌倉女子大 学家政学部 管理栄養学 科 公衆栄養学 ゼミナール	子どもたちに紙人形劇を通して野菜 に興味をもってもらうことを目的と し、クイズ形式の紙人形劇「やーさ いウォッチ」を実施した。	収穫まつり実施団体 秋の収穫まつり実行委 員会・JAさがみ玉縄 支店・産業振興課